

# 北海道PCB廃棄物処理事業 監視円卓会議だより

平成18年11月  
第4号

日本環境安全事業(株)(JESCO)が、室蘭市仲町で行う北海道PCB廃棄物の処理事業について、事業が安全、確実かつ適正に行われるよう、北海道と室蘭市では、処理施設の整備や操業、処理事業における情報公開の監視などを行う『北海道PCB廃棄物処理事業監視円卓会議』を設置しております。

今回は、平成18年8月3日開催の第4回監視円卓会議の内容を中心にお知らせするとともに、来年10月の操業開始に向けて着々と進む処理施設建設工事の進捗状況もお知らせします。

## ● 北海道PCB廃棄物処理事業監視円卓会議(第4回)について

平成18年8月3日(木)午後2時から、来年秋の本格稼働からPCB処理の情報発信拠点となる室蘭市御崎町のPCB処理情報センターにおいて、第4回監視円卓会議を開催しました。監視円卓会議には、委員9名のほか、近隣市の登別市と伊達市、オブザーバーの環境省、JESCO、事務局(北海道・室蘭市)などから27名が出席し、北海道事業の進捗状況や他事業の再発防止対策などについて説明が行われ、活発な意見交換が行われました。

### 【会議の概要】

#### 1 第3回監視円卓会議議事録について

第3回監視円卓会議(4/27開催)の議事録が承認されました。

#### 2 北海道事業の進捗状況等について

室蘭市仲町における処理施設建設工事の進捗状況や試運転開始前の環境現況調査実施状況のほか、他事業の進捗状況及び豊田・東京両事業における事故防止対策等について、JESCOから説明が行われました。

#### 3 環境モニタリングについて

環境モニタリング計画に基づき、操業開始に先立ち、今年度から北海道と室蘭市が実施している周辺地域環境モニタリングについて、測定方法や測定結果について説明が行われました。

#### 4 PCB廃棄物処理施設先行事業地視察について

今後の監視円卓会議の活動の参考とするため、既に稼働しているJESCOの他の処理施設の視察を今年度も実施することとなりました。

今回の視察は、3月に実施した大阪・豊田事業の視察に続くもので、視察先としては広域処理施設として全国で最初に稼働し、最も実績のある北九州事業所とすることとなりました。

なお、視察は10月に委員4名により実施しました。



監視円卓会議

## ● 主な議事の内容

### ■豊田・東京事業の事故への対策について

豊田及び東京事業において発生した事故について、JESCOから原因及び再発防止対策の説明があり、来年稼動する北海道事業では、これらの経験を踏まえた安全な設計や操業を行うこととしています。

事業所・事故状況	事故原因	主な再発防止対策
<b>豊田事業</b>  <u>H17.11.21</u> ・漏洩したPCB濃縮洗浄油から揮発した蒸気の排出	<b>■構造上の不備</b> ・圧力計が微振動により脱落 ・各部屋の気密性の不足 <b>■従業員の操作の遅れ</b> ・従業員の教育が不十分 <b>■管理体制の不備</b> ・運転会社の管理体制不備	<b>■構造及び部品の見直し</b> ・接続部ネジの見直し及び振動の低減 ・気密性確保のための開口仕舞や配管等の安全総点検 ・PCB廃棄物取扱区域全ての換排気の常時活性炭処理と負圧管理の徹底 <b>■人為的なミスの防止</b> ・管理体制の見直しと連絡方法見直し ・人為ミスの発生防止対策と従業員の再教育・訓練 <b>■本社による継続的なチェック体制強化</b>
<b>東京事業</b>  <u>①H18.3.28</u> ・屋外仮設タンクからの廃水流出  <u>②H18.5.25</u> ・切断槽の加熱による排気の排出	<b>■安全意識・遵法意識の欠如</b> ・未許可屋外仮設タンク設置 ・屋外での廃水の保管 <b>■監視体制の不備</b> ・PCB廃水流出の見逃し <b>■安全管理体制の不備</b> ・状況把握体制の不備 ・安全教育や訓練の不足 ・非正常時の対応策不足 <b>■フェイルセーフ機能の不備</b> ・排気の自動遮断等の不備	<b>■設備の改善と多重の安全対策</b> ・送水能力の増加のための設備改善 <b>■設備の自動化などの改善</b> ・排気の自動遮断等や設備の多重の保護対策の確認 ・自動制御等のフェイルセーフ機能強化 ・非正常時（長期停止中等）の対応強化 <b>■安全管理体制の強化</b> ・組織体制見直しと設備監視強化、業務指示の文書化 <b>■安全教育の徹底</b> ・第三者機関の指摘に基づく教育・訓練 ・作業手順遵守の徹底

### ■環境モニタリングの内容について

PCB廃棄物処理施設において、適正かつ安全な処理が行われ、周辺環境に影響を及ぼしていないことを確認するため今年度から実施している環境モニタリングについて、北海道環境科学研究センターから説明がありました。

#### ●今年度行っている周辺地域環境モニタリングの場所と方法

- (大気) ①春夏秋冬毎の合計4週間サンプリングし新日鉄体育館、御前水、白鳥台の各測定局で実施  
 ②1ヶ月連続してサンプリングし、毎月処理施設最寄りの御前水で実施  
 (水質) 室蘭港環境基準点及び施設排水路地先海域で年2回実施  
 (底質) 室蘭港環境基準点で年1回実施

#### ●平成17年度に実施した大気モニタリング結果(新日鉄体育館) [H17年度 予備調査結果]

PCB : 冬 71、夏 230 (pg/m<sup>3</sup>) → 全国平均(冬 130、夏 240 pg/m<sup>3</sup>)をほぼ下回る結果

#### ●処理施設稼動前の今年度のこれまでのモニタリング結果(PCB・ダイオキシン) [速報値]

稼動前における状況は、PCBは道内の他の市街地より低く、ダイオキシンは環境基準を大きく下回っている。

分析対象	測定場所	測定月	PCB	ダイオキシン
<b>■大気</b> (上記①の方法)	御前水公園	5月	190 pg/m <sup>3</sup>	0.017 pg-TEQ/m <sup>3</sup>
	新日鉄体育館	〃	68 pg/m <sup>3</sup>	0.016 pg-TEQ/m <sup>3</sup>
	白鳥台	〃	49 pg/m <sup>3</sup>	0.017 pg-TEQ/m <sup>3</sup>
<b>■大気</b> (上記②の方法)	御前水公園	4月	120 pg/m <sup>3</sup>	0.025 pg-TEQ/m <sup>3</sup>
		5月	190 pg/m <sup>3</sup>	0.023 pg-TEQ/m <sup>3</sup>
		6月	120 pg/m <sup>3</sup>	0.012 pg-TEQ/m <sup>3</sup>
<b>■水質</b>	室蘭港環境基準点	6月	120 pg/L	0.068 pg-TEQ/L
	放流口地先海域	6月	280 pg/L	0.10 pg-TEQ/L
<b>■底質</b>	室蘭港環境基準点	6月	0.042 μg/g	6.7 pg-TEQ/g

※上記結果は速報値であり、年度末に年平均値により判定します。また、大気は2つの方法により監視します。

## ● 委員からの主な質問と回答

### ◎ 東京事業所等の事故への対応について

(質問) 委員

東京都とJESCO東京事業所とのやりとりを公表したり、行政で蓄積していかないのか。

(回答) JESCO

関係機関や専門家による事故対策委員会や環境安全委員会の公開実施や、学識者による東京事業部会を設置し議事録を公開しています。

(質問) 委員

3月の東京事業で芝生にPCBが漏れた事故について、土壌の分析結果はどうだったのか。屋外へ無許可でのタンク設置は自社判断か。

(回答) JESCO

全ての試料で不検出、又は基準値以下という結果がでている。新たな工作物であるタンクの設置については届出を怠っており、JESCOとしては事業所・本社とも後で知った。

(質問) 委員

活性炭のPCB吸着量は検証されているのか。

(回答) JESCO

今回のような高濃度を想定しておらず、今後はそのようなことが起きないように対策を講じる。

(質問) 委員

今回のような高い濃度のPCBが排出されないように、モニターの追加設置を考えているか。

(回答) JESCO

学識者からも同様の指摘を受けており、活性炭処理装置の前側にもオンラインモニタリングポイントを設置することになっている。



### ◎ 安全教育の徹底

(質問) 委員

操業前に安全教育を徹底していただきたい。事故への対応マニュアルを作成し、円卓会議でも安全教育現場に参加させていただきたい。

(回答) JESCO

北海道事業では、社長の指示により試運転前の半年近くを教育の期間として確保します。

(委員長)

教育訓練の場に円卓会議の方々も参加や見学できる機会を作り、実際に操業が始まったら、従事者に、要望などを伝達する場も作りたい。



### ◎ 情報公開と安全性の確保

(質問) 委員

どこまで情報を公開できるか、検討してほしいし、ミスを許すような考え方が設計段階からなかったか。また、排気系統における活性炭の効力が設計の段階で確認されていたのか。

どういう考え方でチェックするかを全て公開していただき安心できるかを点検し確認したい。

(要請) 委員長

他事業所の経験が北海道の施設にどう反映されているのかを、円卓会議に報告いただくとともに、あらためて北海道の施設の内容などを点検していただきたい。また、北海道の施設が何かあればすぐ止められるという施設になっているかを確認していただきたい。

### ◎ 環境モニタリング等について

(質問) 委員

大気の測定点が室蘭東部に偏っているのので、場所の検討や測定箇所を増やすべきではないか。

(要請) 委員長

予算的なものもありますが、皆さんの意見を聴きながら、モニタリングの体制について、道と室蘭市で検討いただき、次回報告願います。

(説明) 事務局

先行事業地視察については、各委員の希望が最も多く、一番先行している北九州事業に4名を派遣したいと思います。

(委員長)

北九州の事業所を視察し、北九州の委員会の方々や北九州市の方々と意見交換していただき、この円卓会議で報告願いたいと思います。



## ● 北海道事業の進捗状況について（現状と経過）

### ■ PCB処理施設の建設工事状況について

鉄骨工事はほぼ終了し、外壁も取り付けられ、外観はほぼ完成時の状態となり、平成19年3月の試運転に向け、スケジュール通り進められています。

◆現在の処理施設の工事進捗率は約70%です（建設工事70%、プラント工事50%（10月末時点））



正面（右側がPCB受入室）



西側（管理棟、液処理エリア）



北側（蒸留エリア、払出室）

### ■ 広域協議会の開催について

平成18年8月30日には、室蘭市において、広域処理のための収集運搬体制について検討する第7回広域協議会が開催され、北海道及び15県、室蘭市が出席し、環境モニタリング計画等の報告、処理施設における受入基準や収集運搬実務要領についての意見交換を行い、これらについては、11月の次回広域協議会で再度協議することとしました。

### ■ 運転会社の決定について

PCB処理施設の運営・管理業務を行う運転会社が室蘭環境プラントサービス(本社：室蘭市)に決まり、JESCOと9月30日に契約締結しました。運転会社は、PCB廃棄物の処理作業や分析、作業に必要な人員の訓練等のほか、その他附帯業務一式を行うなどPCB処理事業において重要な役割を担います。また、100人規模の採用が予定されています。

### ■ 今後の事業日程について(当面の予定)

H18/ 11月 PCB処理計画委員会・部会で収集運搬実務要領の検討・策定

第8回広域協議会（北海道・15県・室蘭市で受入基準案、入門許可要綱案などを検討・策定）

12月 保管事業者・収集運搬事業者説明会等（15日～函館市、18日～室蘭市）、第5回円卓会議

H19/ 3月 試運転開始（PCBの試験処理は6月からの予定：本格稼働は10月開始予定）

### ◆ PCB廃棄物処理事業に関するお問合せ

#### 日本環境安全事業株式会社 北海道事業所

〒051-0001 室蘭市御崎町1丁目9番地8(PCB処理情報センター内)

TEL : 0143-22-3111 FAX : 0143-22-3001

日本環境安全事業(株)ホームページ <http://www.jesconet.co.jp/>



### PCB廃棄物処理事業監視円卓会議に関するお問合せ

#### 北海道環境生活部環境局循環型社会推進課

〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目

TEL : 011-231-4111(24-312) FAX : 011-232-4970

E-mail : [kansei.kanhai1@pref.hokkaido.lg.jp](mailto:kansei.kanhai1@pref.hokkaido.lg.jp)

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kseikatu/ks-khbt/index.html>

#### 室蘭市企画財政部企画課〔環境産業推進〕

〒051-8511 室蘭市幸町1番2号

TEL : 0143-25-2704 FAX : 0143-24-7601

E-mail : [kikaku-ei@city.muroran.hokkaido.jp](mailto:kikaku-ei@city.muroran.hokkaido.jp)

<http://www.city.muroran.hokkaido.jp/main/index.php>

試される大地

# 北海道



※「円卓会議だより」や会議資料は、北海道と室蘭市のホームページでご覧いただけます。

また、「円卓会議だより」は、室蘭市の各サービスセンター（中央・中島・東）でも配布しています。